

# 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺の まちづくり市民検討会 振り返り説明会

本日の説明会は、第10回市民検討会の開催に当たり、第9回市民検討会から時間が経過しているため、希望される委員を対象に、**これまでの経過を振り返りとして説明するものです。**

**説明の後、会場内で5W1Hアイデアカードを作成することも可能です。**  
作業時間を含め、概ね1時間を予定しております。



環境経済局環境共生部  
都市建設局まちづくり計画部  
教育局生涯学習部

公園課  
都市計画課  
生涯学習課

## 【説明】これまでの経過の振り返り（約20分）

- 基本計画案の公表、パブリックコメント
- 市民検討会の立ち上げ、
- 第9回市民検討会までの検討内容

## 【作業】5W1Hアイデアカードの作成（約40分）

これまでの経過についてのご質問は、5W1Hアイデアカード作成の時間に個別にお声掛けください。

# 市民検討会立ち上げまでの経過

第1回市民検討会資料より

2

平成20年5月

大野北地域 まちづくり提言

平成23年～

大野北地区 まちづくり懇談会による意見交換

平成29年5月～

各団体等へ事業スキーム（枠組み）の説明

【各団体】大野北地区まちづくり会議、図書館協議会、大野北公民館運営協議会、青少年学習センター運営協議会、さがみはら国際交流ラウンジ運営機構運営委員会、あさひ児童館運営委員会、大野北地区自治会連合会、近隣自治会など

平成29年5月  
～11月

各施設利用者アンケート

【各施設】市立図書館、大野北公民館、大野北まちづくりセンター、青少年学習センター、さがみはら国際交流ラウンジ、あさひ児童館、鹿沼公園、淵野辺駅南口第1・第2自転車駐車場

平成29年11月

市議会全員協議会で基本計画（案）説明

平成29年12月

淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）公表

平成29年12月  
～平成30年1月

## パブリックコメント実施

複合施設等に関する市民参加型ワークショップ（全3回）

鹿沼公園でのオープンハウス（全2回）

淵野辺駅利用者に対するウェブアンケート調査

市民説明会・個別説明会の実施（全9回 延べ約530人参加）

平成30年5月

パブリックコメント結果 公表

平成31年1月

パブリックコメントを受け、市民説明会などで今後の対応を説明  
検討組織の設置、複数の検討パターンの提示、市民などへの追加説明

平成31年3月

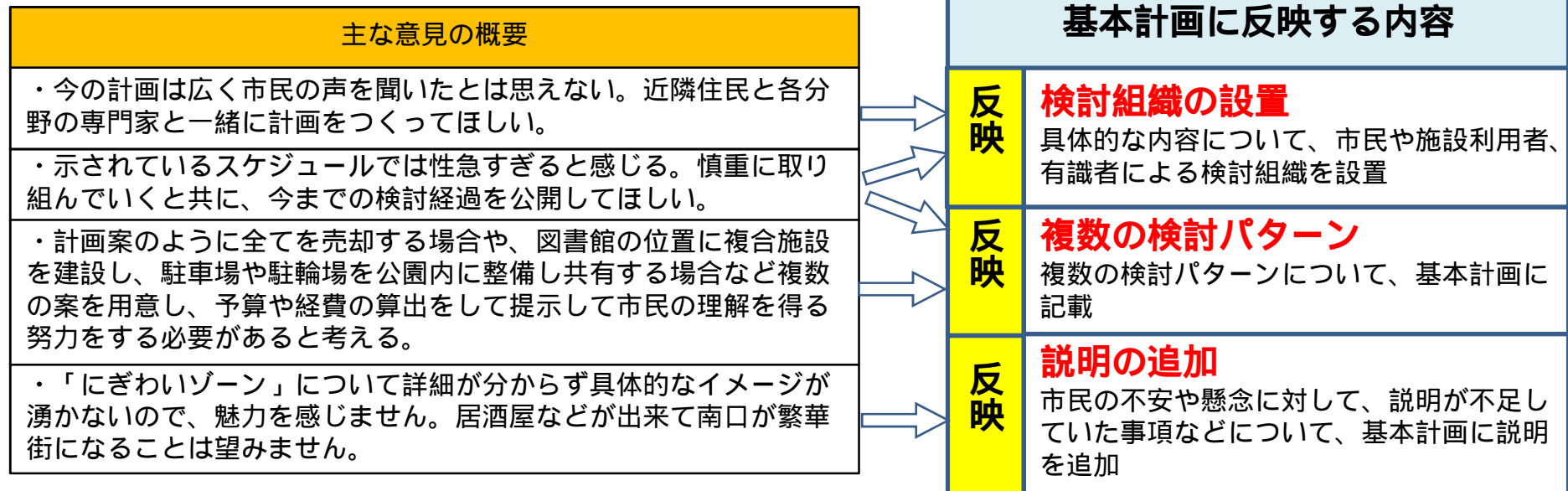
市民検討会と有識者協議会の立ち上げ、検討を開始

【パブリックコメント結果の概要】

意見募集期間：平成29年12月7日（水）～平成30年1月31日（水）

意見の提出数：352人（914件）

ア：計画案等に意見を反映するもの（216件）



イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの（285件）

- ・政令指定都市にふさわしい、相模原の文化・知性の中心となるようなすてきな公共施設が整備されることを望みます。
- ・児童交通公園は、子どもにとって良い勉強の場になっているので、ぜひとも残してほしい。
- ・野球場はそのまま、予約の入っていないとき(平日の昼間)は解放すれば、芝生で子どもたちが遊べると思いました。利用者の数が少ないと言う意見も解消すると思います。

ウ：今後の参考とするもの（413件）

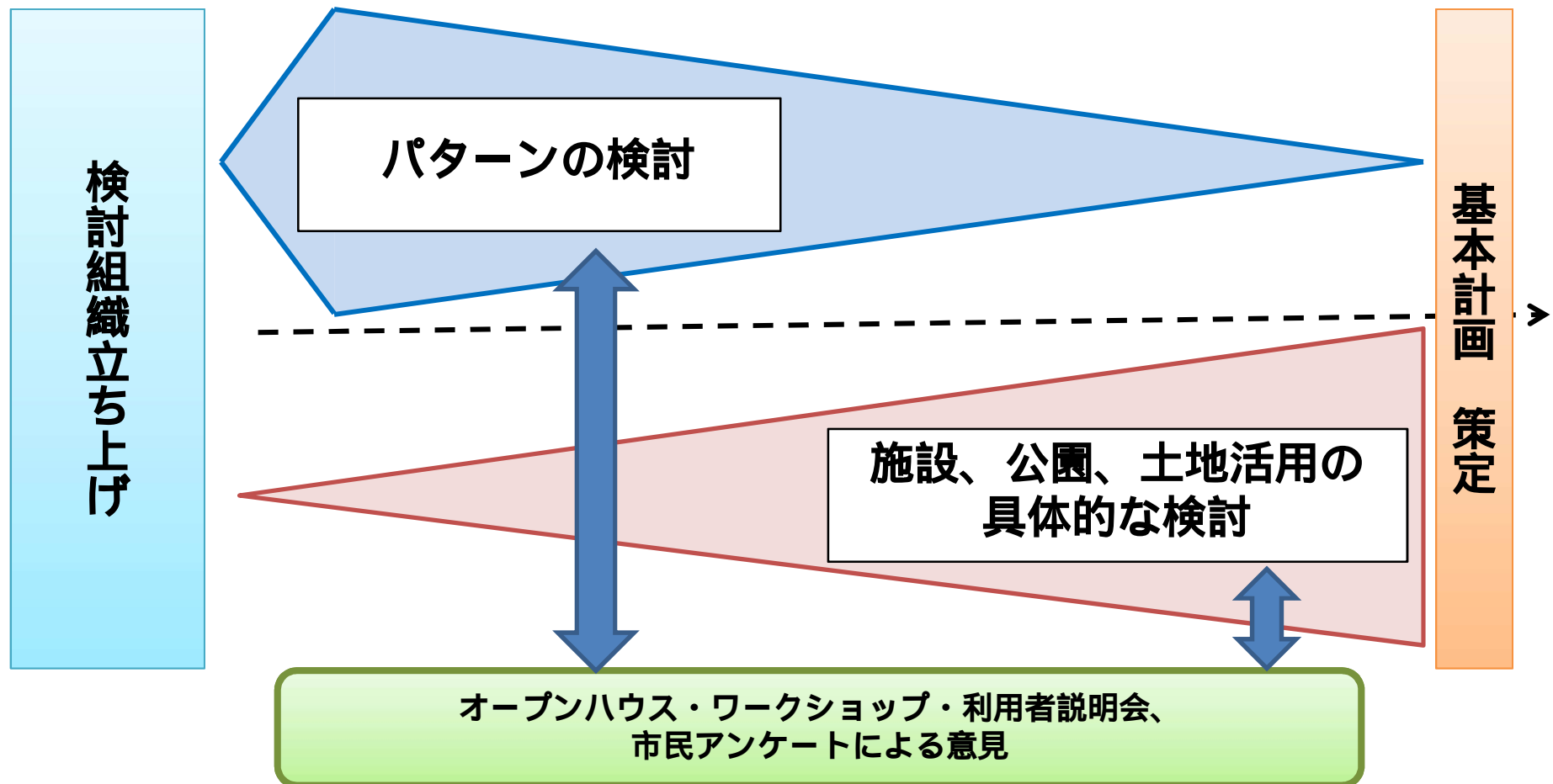
- ・児童交通公園をなくすなど、子ども達がのびのび遊べる場所をなくすのは反対です。今の素朴な鹿沼公園をそのまま残してほしい。
- ・民間に売ったあと、パチンコ屋や居酒屋になってしまったらどうなるのか心配。

今後は、パブリックコメントで頂いた御意見等を踏まえ、  
**新たに検討組織を立ち上げる**とともに、  
当初の事業手法以外にも、  
**複数のパターンについて、**  
利用者の利便性向上、財政負担などの視点から検証し、  
**最も効果的な事業手法を検討してまいります。**

事業手法の検討に当たっては、  
いくつかの例を示しますが、  
**これらのパターンにこだわることなく、**  
**より効果的な事業手法のアイデアが出た場合には、**  
**導入について、積極的に検討していきます。**

今後は、検討組織により、**複数のパターンを検討しながら、施設、公園、土地活用の具体的な検討を進めます。**

検討の進捗に応じて、ワークショップや説明会などで広く市民の皆様のご意見を頂きながら、基本計画策定に向けて取り組んでまいります。

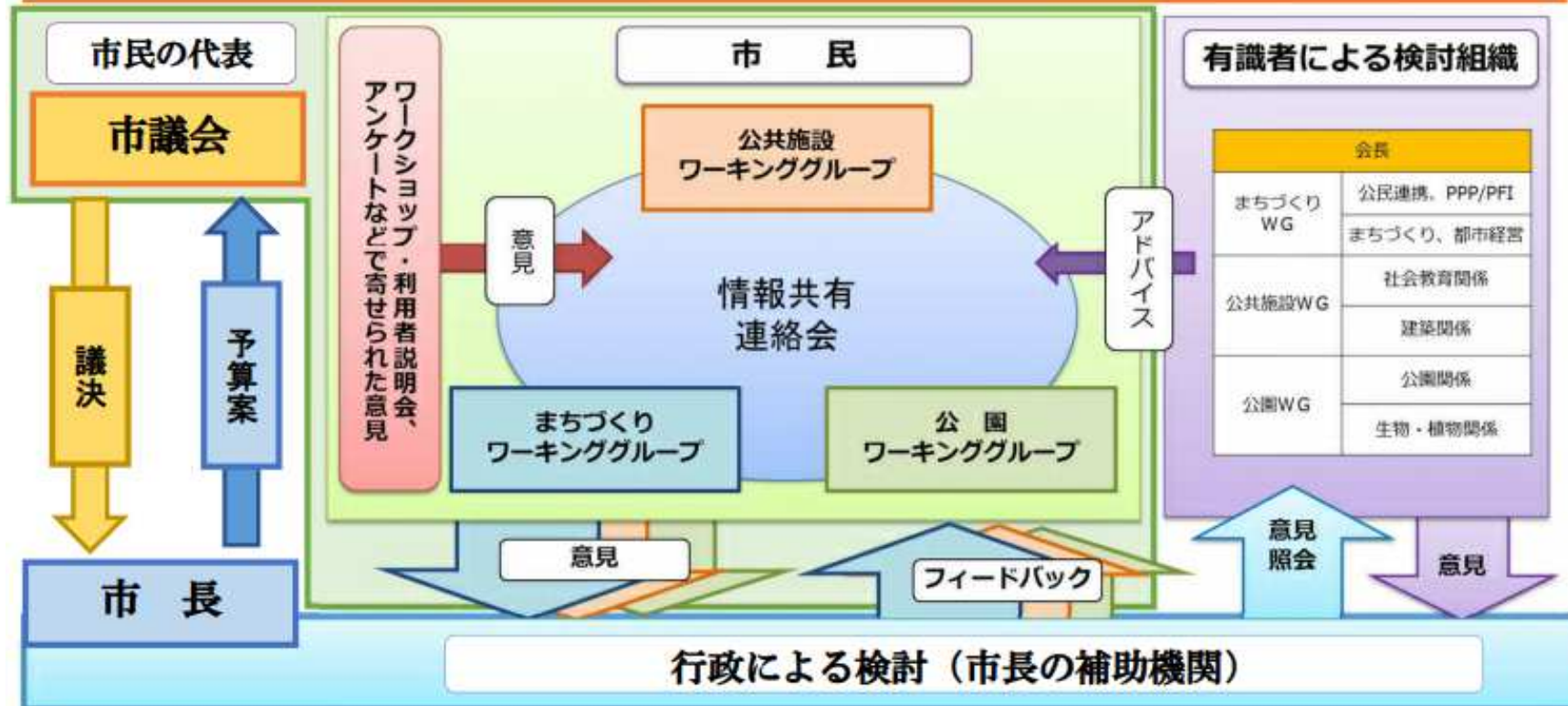




## 市民検討会の位置づけと行政との関係性について



市民検討会は、それぞれの分野に関係する方や公募の方の参加の下、自由な意見を出して頂くことを目的に設置。有識者は、市民検討会をサポートし、市からの照会等に専門的な見地から意見を頂戴することとしている。



検討に当たって、**市民検討会が重要な役割を担っていると考えているが**、有識者協議会からの意見のほか、**広く市民意見を聴取し「次世代に引き継ぐまちづくり」**について、市長の補助機関である行政がまとめ、**市長が決定し、市民や議会に対して説明責任を果たさなければならないもの**と認識している。



## 第1回市民検討会

### 淵野辺のお気に入りポイント

#### まちの環境

- ・のんびりで静かな住環境
- ・地形が平らで活動しやすく、北口の商業、南口の住宅で特色が分かれている。

#### 公共施設

- ・公共施設やJAXAなどの文教施設が揃っている。
- ・図書館や本屋などが揃っている環境が良い。

#### 公園・緑

- ・駅近くの鹿沼公園は、桜などの自然豊かな環境、児童交通公園、SLなど魅力が豊富

#### 買い物

- ・飲食店やカフェ、スーパーやコンビニ等必要なものが揃う便利な環境

#### 子育て

- ・子育て施設が充実し、子育てがしやすい。
- ・保育園や病院など様々な支援が揃っている。

#### 大学

- ・学生が多く若者が元気、若いイメージの街

住みよい住環境や買い物・公共施設もある便利な環境、鹿沼公園を中心とした自然、若者や子育てしやすい環境などの魅力を持つ今のまちに愛着を持っている。

## 第2回市民検討会

### まち歩きで気づいたこと

#### 良い点

#### まちの環境

- ・ゆったりとし、居心地がいい。
- ・駅を中心に人や施設が集まっている。

#### 公園・緑

- ・公園に自然が多く、居心地が良い。

#### 公共施設

- ・施設が駅に近く、利用者が多い。
- ・運営に様々な努力が感じられた。

#### 気になった点

#### 公共施設

- ・建物の老朽化が目立ち、安全性や時代の変化に合っていない。
- ・駐輪場など不正利用が目立つ。

#### 公園・緑

- ・砂利道が多いことや自転車の走行などが危険

まち歩きにより、施設が老朽化している事、時代の変化等に合っていない事が分かった。利用者の意見も聞き、残すもの変えるものがあるのではないかな。

## 第3回市民検討会

### 施設の運営で気づいたこと

#### まちの環境

- ・良い文化を残しつつ、地域づくりが重要
- ・外国の方が増えている。

#### 図書館 公民館

- ・キャパシティが小さく、読書・PC・飲食できるスペースがあっても良いのでは。
- ・子どもにもっと利用してほしい。
- ・音楽が出来るスペース

#### 施設運営

- ・利用率が高いため、効率的、柔軟な使い方、有料化も検討。

#### 新たなニーズへの対応

- ・良いものを残して、悪いものを更新していく。
- ・時代のニーズに合わせる。

#### 公園

- ・現状に満足しつつも、さらに質の向上や芝生広場等を、設置し魅力を向上させたい。

#### 連携・複合化・集約化

- ・施設を連携させたり、ひとのつながりがポイント。もっと効率的な使い方などが出来ないか。

淵野辺のまちが持つ良い点・魅力を向上させるとともに、さらに施設運営や時代のニーズにあった更新・改善など、次世代に引き継ぐアイデアがあるのではないかな。



## 第4回市民検討会

### 3つのWGの視点で、気になったこと

#### まちづくり

- ・公共施設や商業施設が揃っており、駐輪場や公共の交通手段があり利便性がある。
- ・静かな環境で、駅近くには公園などの自然がある一方、交通マナーや防災、防犯の観点では課題があるのでは。
- ・外国人増などの社会的要因も含めて考える必要がある。

#### 公共施設

- ・駅に近く、よく利用されている。
- ・施設全体では貸室の数があるものの、利用率が高い施設とそうでない施設があるため、施設間連携や使い方を工夫することで改善ができるのでは。
- ・コミュニティのよりどころになっていない。

#### 公園

- ・季節感を感じられる景観、交通ルールを学べ、子供と遊べる重いの場になっている。
- ・見通しが悪く、池の汚濁や設備が古くなっていることから景観や防犯面から考えると課題
- ・新たな施設（運動施設、休憩施設、カフェなど）があれば魅力が増し、良い効果が生まれるのでは。

3つの視点で、確認する事でそれぞれ良い点等を深堀りすることが出来た。

山本副会長の講演を踏まえて、次回の検討会では次世代を見据えた課題解決のアイデアを考えることが必要

## 第5回市民検討会

### 前回抽出した課題に対するアイデア出し

#### まちづくり

- ・まち全体として、商業・住宅は今のままを維持し、交通は改善したい。
- ・今後の高齢化を見据えて、コミュニティバスの無料化や基盤整備が必要
- ・北口と南口をつなぐ道路が必要など北口と南口のネットワークを強化する。
- ・公共施設が抱える老朽化などの直近の問題を解決すべき。
- ・駐輪場、駐車場を有料化し、適正利用を促す。
- ・ナイトウォークや防災訓練など安全・安心の取組が必要

#### 公共施設

- ・利用目的にあった空間の設置や時間を確保できる仕組みなどハード・ソフト整備が必要
- ・子どもから大人まで交流できるスペース、カフェなど今はない機能を新たに設置し、気持ちよく過ごせるようにしたい。
- ・施設や設備が老朽化しており、フロアも狭い。複合化することで有効面積を拡大、維持管理費なども改善するほか、楽しい要素も見いだせるのでは。
- ・財政の問題もあり、何が大切か。他市では有料ラウンジなどが人気なので縮ぐ仕組みも必要ではないか。

#### 公園

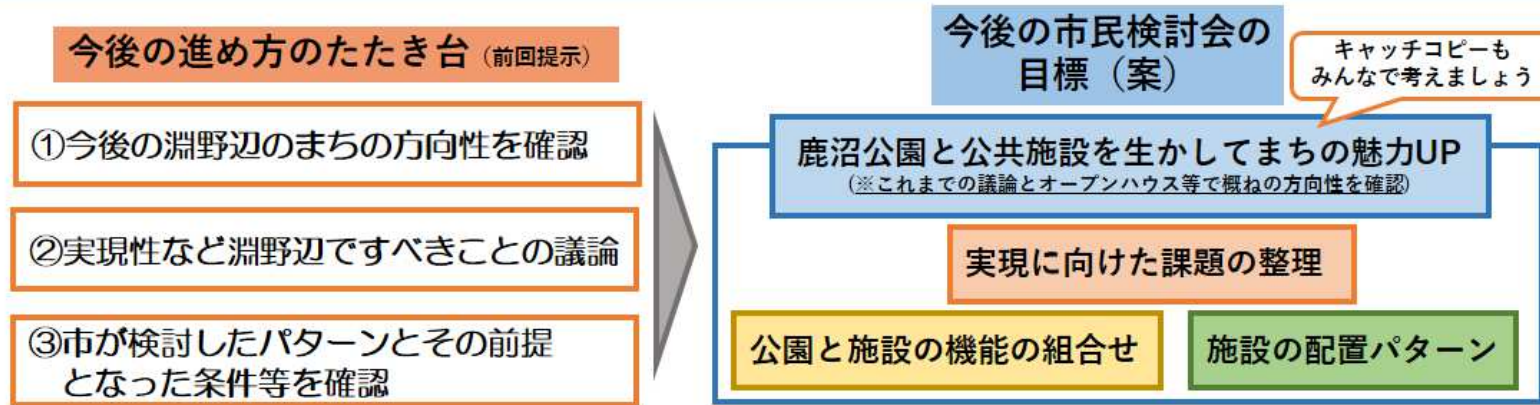
- ・交通公園は形を変えたとしても残す。また、児童館を公園の中に設置することで、子育て、教育環境が向上するのでは。
- ・SLやでいらぼっち伝説は公園のシンボルとして文化を伝えたい。
- ・野球場を多目的に利用できるようにして、健康・レクリエーションの空間にする。
- ・防災の拠点として、オープンスペースや人が集うコミュニティ施設を整備

今後の高齢社会や財政の問題なども視点に入れた解決のアイデアが出てきた。今後の進め方に対する意見もあり、方向性を再確認をした上で議論を前に進めたい。





## 今後の市民検討会の目標とスケジュール【たたき台】



開催時期	市民検討会の内容 (予定)	開催手法
今後のスケジュールと内容	<b>第7回市民検討会</b> (令和元年11月9日) <ol style="list-style-type: none"> <li>これまでの市民検討会での課題の説明</li> <li>委員アンケートや第1回オープンハウス、第1回市民アンケートの結果の説明</li> <li><b>今年度の目標とスケジュールの説明</b></li> <li><b>次回のグループワークでの前提条件と平成29年度に検討したパターン</b>の説明</li> </ol>	意見交換
	<b>第8回市民検討会</b> (令和元年12月予定) <ol style="list-style-type: none"> <li><b>(仮) 公園から見るまちづくりについて (有識者講演予定)</b></li> <li>グループワークの実施 →みなさんのアイデアがどのようなパターンになるか考えてみましょう。</li> </ol>	グループワーク
	<b>第9回市民検討会</b> (令和2年1月予定) <ol style="list-style-type: none"> <li><b>(仮) 公共施設から見るまちづくりについて (有識者講演予定)</b></li> <li>グループワークの実施 →アイデアの実現可能性や相乗効果について考えてみましょう。</li> </ol>	グループワーク
	<b>第2回オープンハウス及び第2回市民アンケートの実施</b> (第7回～第9回までの検討会の内容について)	
<b>第10回市民検討会</b> (令和2年2月予定) <ol style="list-style-type: none"> <li><b>第2回オープンハウス、第2回市民アンケートの結果</b>の説明</li> <li>今年度のまとめ</li> <li><b>令和2年度以降の市民検討会の進め方 (案)</b>の説明</li> </ol>	意見交換	

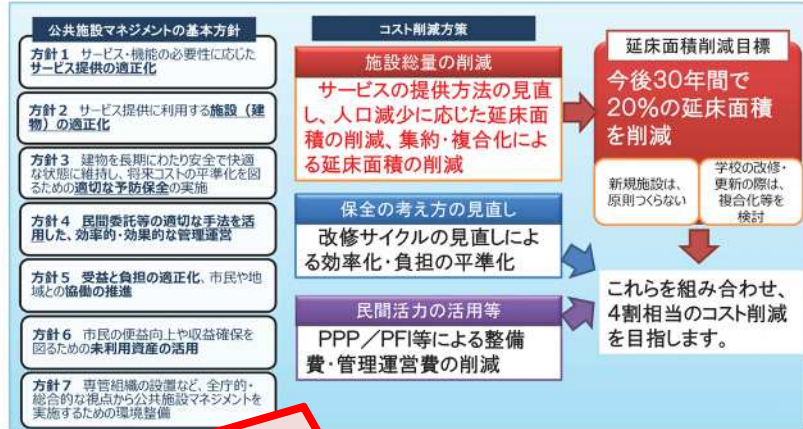
オープンハウスや市民アンケートの結果を踏まえ、今後の市民検討会の目標に向けて、第8回以降、グループワークを行いながら、具体的な施設の配置や機能の組合せ、実現に向けた課題などを検討していくことになりました。



# 公共施設の検討条件

## 条件1. 公共施設の保全・利活用基本指針

- 本基本方針は、相模原市が公共施設マネジメントに取り組む上での基本方針やコスト削減などの考え方をまとめたものです（平成25年10月）。
- 今後の検討では、**基本方針に則った検討がポイント**になります。



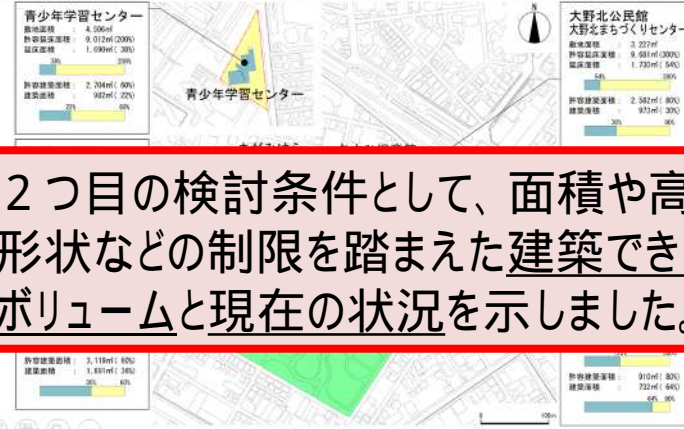
1つ目の検討条件として、公共施設マネジメントの基本方針やコストの削減方策などを示しました。

3つ目の検討条件として、利用サービスの継続、建替えの場合は仮設施設と更なる費用が必要であることを示しました。

## 条件2. 建物ボリュームの制限

### ■既存公共施設のボリューム

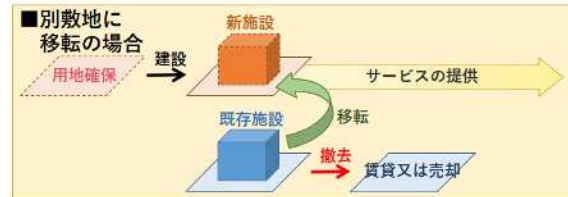
- 既存公共施設は敷地に対して、自転車駐車場以外は建ぺい率・容積率ともに大きな余裕がある状態であることがわかります。



2つ目の検討条件として、面積や高さ、形状などの制限を踏まえた建築できるボリュームと現在の状況を示しました。

## 条件3. 建替え中のサービスの継続

- 施設の建替えにあたって、**建設工事期間も利用サービスを継続できるように**、別敷地への移転新設や仮設施設の建設等を検討する必要があります。
- 新施設の建設工事にはおよそ1年から2年程度の期間がかかります。



※敷地ではなく他の施設内に移転することも可能ですが、民間施設の場合は、賃料負担が必要になります。



# 公共施設の検討条件

## 平成29年度基本計画(案)の際に検討した主な検討パターンの概要

これから市民検討会で様々なパターンを検討していきましょう！

検討パターン	基本計画案	パターン②	パターン③	パターン④
配置イメージ				
集約複合化の効果	多くの機能を集めることで延床面積や維持管理費が削減でき、事業などの連携がさらにしやすくなる。			
仮設施設の必要性	◎	○	◎	-
公園リニューアル	リニューアルする	リニューアルする	リニューアルしない	リニューアルしない
影響額(歳入と歳出の差額)	約3億円	約-17億円	約-10億円	約-50億円
施設配置パターンに近い検討委員アンケートで出された解決のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本鹿沼公園は現状維持してコンパクトに公共施設を造ったらよい。自転車置場は現状維持が良い</li> <li>老朽化が進行している公共施設は更新する</li> <li>青少年学習センター、児童館と一緒に配置する</li> <li>全ての公共施設をコンパクトに配置も必要である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館、公民館、まちづくりセンター、国際交流ラウンジ、児童館の統合(場所は現在の図書館(またはまちづくりセンター)の敷地内)</li> <li>児童館は児童館(またはまちづくりセンター)の敷地内</li> <li>自転車置場は駅前</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館、公民館、まちづくりセンター、国際交流ラウンジ、児童館の統合(場所は現在の図書館(またはまちづくりセンター)の敷地内)</li> <li>児童館は児童館(またはまちづくりセンター)の敷地内</li> <li>自転車置場は駅前</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現駐輪場：駐輪場(更新)、国際交流ラウンジ(移設)</li> <li>鹿沼公園：公園事務所(更新)、児童館(移設)、カフェ(新設)</li> <li>まちセン・公民館：まちセン・児童館(更新)、図書館(新設)</li> <li>書館：市営駐輪場</li> <li>青少年学習センターは再整備に入れき地理的位置にない。</li> </ul>
上記以外の検討委員アンケートで出された解決のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>動線を考慮し、自転車置場、まちづくりセンター、国際交流ラウンジは相対的に駅前に置くべき</li> <li>駐輪場は駅前と意味がない</li> <li>課題は、駅前駐輪場の移設</li> <li>鹿沼公園を駅の南口まで拡大する</li> <li>鹿沼公園・市立図書館の駐車場の統合・立体化(地下埋設)、国際交流ラウンジの図書館への統合</li> <li>駐輪場と公園、図書館の駐車場は地下化する</li> <li>公共施設は高層ビルなどでコンパクトに1箇所にまとめる</li> <li>可能な限り複合施設が望ましい</li> <li>複合型公共施設の誘致に関しては、利用頻度の少ない場所を洗い出し、必要面積を勘案すべき</li> <li>集約するのであれば、セットにしたときに利用価値が最大化または相性の良い組み合わせにする</li> </ul>			

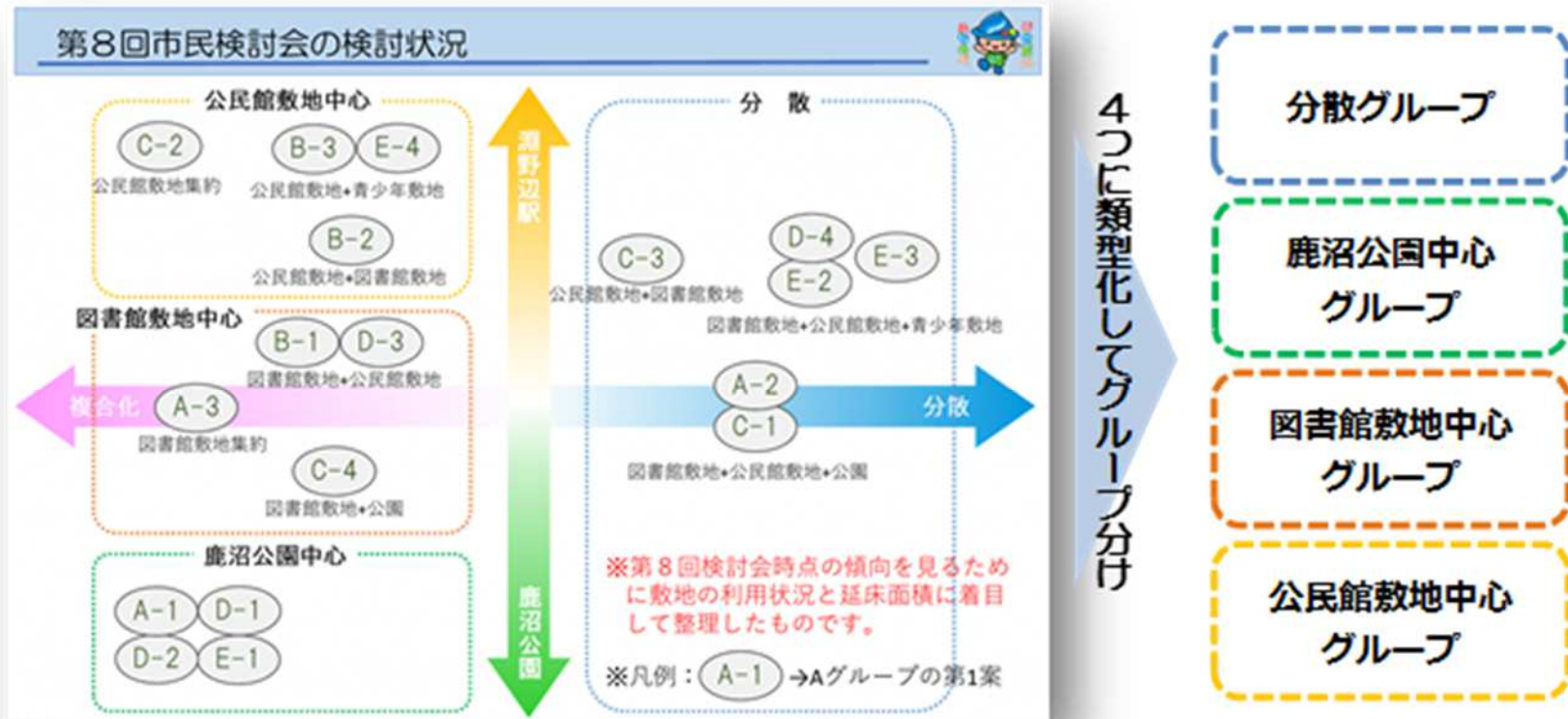
今回、提示した検討パターンは平成29年度に検討したパターンの一部です。今後の検討で様々なパターンを検討していきましょう！

平成29年度基本計画(案)公表の際には、様々なパターンを検討し、次世代に引き継ぐため、最も実現性が高いものを基本計画案としました。





淵野辺駅南口周辺の地図やブロックを使って施設の配置や機能の組合せを考えました。グループワークを通じて、様々な組合せが検討され、18の検討案が出されました。



それぞれ考え方が近かった委員同士がグループになり、検討案に関するアイデアをより具体化するためのグループワークを行いました。



## これまでの市民検討会を踏まえた議論のポイント



<p>公共施設</p>	<p>①活動できるスペースの確保 ②施設間連携などによる新たな魅力の創出 ③居心地の良い空間など新たなニーズへの対応 ④人が集まるアクセスの良さ</p>	<p>⑤安全・安心の確保 ⑥施設運営の効率化 ⑦施設や設備の老朽化への対応 ⑧公共施設がまちに与える影響・効果</p> <p>など</p>
<p>公園</p>	<p>①公園機能の向上 ②公園環境・景観の向上 ③子育て・教育環境の向上 ④公園の魅力向上</p>	<p>⑤安全・安心の確保 ⑥防災機能の強化 ⑦公園がまちに与える影響・効果</p> <p>など</p>
<p>まちづくり</p>	<p>①暮らしやすい居住環境の保全 ②生活利便性の維持、向上 ③まちなみの景観の統一などによる魅力の向上</p>	<p>④地域のネットワークの形成 ⑤人口減少・超高齢社会など社会的要因への対応 ⑥安全・安心の確保</p> <p>など</p>
<p>実現に向けた課題</p>	<p>①財源の確保 ②維持管理・運営コスト ③再整備の際の市民サービスの継続</p>	<p>④建て替え用地の必要性 ⑤跡地、民間活用</p> <p>など</p>

## まとめシート Aグループ（分散）

公共施設	<p><b>1-2 活動やその成果発表の場</b></p> <p><b>4-1 活動が分かる（見える）</b></p> <p><b>8-1 公共施設がまちに与える影響・効果</b></p> <p>公民館敷地に音の出せる施設を集約 音楽の聖地（例：ゆずの伊勢佐木町） 楽器搬入⇄駅近</p>	<p><b>3-3 気持ちよく過ごせる</b></p> <p>静かな施設、公園View（図書館）</p> <p><b>2-3 施設間の連携・相乗効果</b></p> <p>活動別に敷地活用を優先する</p> <p>青少年学習センターは音の出る機能を庫民間に集約するが、規模縮小して現地に建替る</p>	<p><b>1-2 憩いの場</b></p> <p><b>4-2 コミュニティ活動の場</b></p> <p>休憩施設・カフェ等の整備 子育て世代を中心に</p> <p><b>1-1 文化・教養</b></p> <p>図書館用地を公園範囲に加える</p>	<p><b>1-3 野球場エリアの利活用</b></p> <p>草野球主体利用で野球場は残す</p> <p><b>6-2 公園周辺の交通</b></p> <p>サイクリングルート の整備</p> <p>公園駐車を地下駐 200～300台確保（賃貸しあり）</p>	公園
	<p><b>8-1 公共施設がまちに与える影響・効果</b></p> <p><b>4-2 人が集まり憩える空間</b></p> <p><b>2-2 まちなかの賑わい</b></p> <p>音出しイベント 駅前（公民館） 屋外イベント活用</p> <p><b>1-2 子育てしやすい環境</b></p> <p>鹿沼公園を中心とした子育てしやすいまちづくり</p>	<p><b>6-2 安全な歩行空間の創出</b></p> <p><b>4-4 北口南口の連携</b></p> <p>駅から公園までの道路幅またはペDESTリアンデッキ整備</p>	<p><b>1 財源の確保</b></p> <p><b>5 跡地・民間活用</b></p> <p>民間開発を誘致</p> <p>公民館敷地を民間に借地（売却はしない）</p>	実現に向けた課題	
まちづくり					

## まとめシート Bグループ（鹿沼公園中心）

公共施設	<p><b>2-3 施設間の連携・相乗効果</b></p> <p><b>1-3 様々な目的で利用</b></p> <p><b>2-2 多世代・多文化交流</b></p> <p>公民館と児童館一体化 異世代交流できる</p> <p>共用スペースを減らすことができる</p> <p>共用化すれば貸室の利用は柔軟にできる</p>	<p><b>6-1 運営の効率化</b></p> <p>公民館と児童館の運用のタテ割り課題</p> <p><b>1-1 スペースの不足</b></p> <p>公民館スペースもっと増やしてほしい</p> <p><b>2-1 新たな魅力の創出</b></p> <p>公園と一体となった建物</p>	<p><b>4-2 気軽に立ち寄れる</b></p> <p>駅前に行政カウンターのみ欲しい</p> <p>駅前はまちセンの機能は残したい 駐車場も欲しい</p> <p>コンビニでできるので、こだわる必要ない</p>	<p><b>6-1 まちなかの自然景観</b></p> <p><b>1-2 憩いの場</b></p> <p><b>4-1 公園のシンボル</b></p> <p>カフェは高いところにある方が良い 高い建物の高層階に！→公園を楽しむことができる</p>	<p><b>4-2 コミュニティ活動の場</b></p> <p>公園の中にコミュニティスペースがある方が良い 世代間をつなぐ 子育て、若者、高齢者</p> <p><b>1-3 野球場エリアの利活用</b></p> <p>野球場付近に建物を分散して配置 高い建物NG</p> <p>駅から遠くなるので利便性悪い</p>	<p><b>5-2 安全・安心・防犯・防災</b></p> <p>災害時の利用も対応</p> <p><b>5-3 公園内の駐車場・駐輪場</b></p> <p><b>6-2 公園周辺の交通</b></p> <p>外から来る人は16号から来るので、野球場周辺に集客施設+駐車場</p> <p>水生植物園利用率が低い</p>	公園
	まちづくり	<p><b>8-1 公共施設がまちに与える影響・効果</b></p> <p><b>4-2 人が集まり憩える空間</b></p> <p><b>2-2 まちなかの賑わい</b></p> <p>駅からの動線を改修してフリマできるように</p>	<p><b>6-2 安全な歩行空間の創出</b></p> <p>駐輪場を移設したい 自転車の通行が危ない</p>		<p><b>3 市民サービスの継続性</b></p> <p><b>4 建て替え用地の必要性</b></p> <p>建替えに伴う休業期間をなくせる</p>	<p><b>1 財源の確保</b></p> <p>コスト的に制限なければ図書館を公園に取り込んで施設をまとめる</p>	<p><b>5 跡地・民間活用</b></p> <p>定期借地</p>



## まとめシート Cグループ（図書館敷地中心）

公共施設	<p><b>4-1 活動が分かる（見える）</b></p> <p><b>4-2 気軽に立ち寄れる</b></p> <p><b>1-3 様々な目的で利用</b></p> <p>交流が広がる（イベントの実施）など</p> <p>知らなかった施設を知れる、気づく（施設利用者、公園利用者）</p>	<p><b>2-3 施設間の連携・相乗効果</b></p> <p><b>3-2 誰でも利用できる</b></p> <p>利用も広がる</p> <p>外から見ても楽しそう</p> <p><b>6-1 運営の効率化</b></p> <p>書庫を他の場所へ</p>	<p><b>8-1 公共施設がまちに与える影響・効果</b></p> <p>「公園の中に建てる」ではなく「公園を広げて建てる」</p>	<p><b>7-1 老朽化への対応</b></p> <p>老朽化対策が必要（交通公園など）</p> <p><b>3-1 子育て・教育環境</b></p> <p>子どもの屋外の遊び場</p> <p><b>1-3 野球場エリアの利活用</b></p> <p><b>4-2 コミュニティ活動の場</b></p> <p>野球場を多目的に利用</p>	<p><b>6-2 公園周辺の交通</b></p> <p>アクセスは良くしたい</p> <p>自転車通行に問題が↓</p> <p>自転車の通り道 園内の動線の確保</p> <p><b>2-2 樹木の適正管理</b></p> <p>木のバランスもとりながら維持管理</p>	<p><b>1-2 憩いの場</b></p> <p>公園内の制約を少なく</p> <p>雨・風・寒さをしのげるような休憩場所 カフェなど</p> <p><b>2-1 池や樹木等の自然環境</b></p> <p>緑は残す 整える</p> <p>はず池の改善 何か活用を (急にコンクリートの場になるのもっと自然に近い雰囲気)</p>	公園
	<p><b>1-1 暮らしやすい環境</b></p> <p>沿道も歩きやすく</p> <p><b>3-1 街並みの色彩景観の統一</b></p> <p>南口の魅力を高める方策の議論はないのか</p>	<p><b>4-2 人が集まり憩える空間</b></p> <p>公園と図書館を一体的に活用</p>	<p><b>6-2 安全な歩行空間の創出</b></p> <p>沿道の建物のコントロール</p> <p>駐輪場への動線（安全）</p> <p><b>2-1 生活利便性の維持・向上</b></p> <p>駐輪場の場所を確保</p> <p>まちづくりセンターなど、特定の目的の施設は駅からの利便性を考慮</p>	<p><b>1 財源の確保</b></p> <p>予算は考えなくていいのか</p> <p>市全域で予算は考えるべき</p> <p><b>2 維持管理・運営コスト</b></p> <p>維持管理費の削減</p> <p>駐車を有料化して収益を取る</p>	<p><b>3 市民サービスの継続性</b></p> <p>一時的に規模は縮小しながら</p> <p><b>合意形成</b></p> <p>市民検討会だけの意見でなく</p> <p>市民が求めている要望を反映したい</p>	実現に向けた課題	
まちづくり							



## まとめシート Dグループ（公民館敷地中心） 1 on 2 集約

公共施設	<p><b>今の魅力を残す</b></p> <p>図書館 今の空間に愛着</p> <p>図書館の憩いの空間を維持</p>	<p><b>5-2 外国人の増加（国際交流ラウンジ）</b></p> <p>ラウンジ機能を先に移転して公民館を移転</p> <p>ラウンジを集約して視認性up</p> <p>空き教室を使わせてもらってもいい</p> <p>ラウンジと図書館の相性は良さそう</p> <p>ラウンジの認知度を上げたい</p> <p>勉強スペースを追加</p> <p>ラウンジを区ごとに設置</p>		公園
	<p><b>3-3 気持ちよく過ごせる</b></p> <p>居心地のよい空間にしたい。室温</p> <p>図書館などの設備の工夫（ワーキングスペース）イベント・展示・スペースによって人が集まる可能性は考えられる</p> <p>分散していてもつながっている 広報、周知、分かりやすさ</p>	<p><b>4-2 人が集まり憩える空間</b></p> <p>人が集まるような空間を設ける場所</p> <p>人が集まる空間・場所があった方がよい</p> <p>図書館の中にワーキングスペース造ったスペース</p> <p>公共用地を次世代に引き継ぐ</p>	<p><b>3-2 誰でも利用できる</b></p> <p><b>1-3 野球場エリアの利活用</b></p> <p>野球場 →多目的なオープンスペース 防災にも</p> <p>野球場 誰でも気軽にいつでも入れる遊び場に</p>	
まちづくり	<p><b>3-1 街並みの色彩景観の統一</b></p> <p>メインコンセプト 駅から公園に繋がるまちづくり</p> <p>駅からの視認性（公園、公共施設、人が集まる）</p>	<p><b>6-1 まちなかの自然景観</b></p> <p>駅に近いから人の目に止まりやすい</p> <p>駅から公園に向かって低く空が見える公園が見える</p>	<p><b>まちづくりの誘導</b></p> <p>建物の用途制限</p> <p>法規制 どうやって公園と一体性を持たせるか</p> <p>逆に規制をかけてもいいのでは</p>	実現に向けた課題
	<p><b>4-4 北口南口の連携</b></p> <p>南口・北口の架け橋 行きやすさ、交流</p>	<p>地域の大学（図書館）との連携充実</p>	<p><b>5 跡地・民間活用</b></p> <p>売却せずに工事ヤード時に活用（未来に資産を残す）</p> <p>資金負担が少なくなるように</p> <p>プレハブ仮設を活用</p> <p>高く売れなければ売らなくてもいいのでは</p>	

- 次世代に引き継ぐまちづくりの検討パターンとして4種類の検討パターンに分類されたことを踏まえ、**第10回ではそれぞれの検討パターンならではのセールスポイントや課題を整理することが目標です。**
- セールスポイントや課題を検討するためには、**一定の検討ルールのもと、論点を明らかにして議論することが有効**です。今回はわかりやすく伝えるための検討のルールとして5W1Hアイデアカードを使ってセールスポイント、課題を検討しましょう。

